

## ICT を活用して情報公開推進、業務効率化、議会活性化

### タブレット端末の導入

本市議会において、ペーパーレス化による経費削減、議会運営の充実、議会の見える化を目的としてタブレット端末が導入されます。

これまで議会では、議案、参考書類、連絡業務などの全てが紙媒体で運営されており、その量は大量で、紙、印刷等のコスト、製本、分類分配などの人件費が課題となっていました。

そこで、議会のペーパーレス化を進めることで、これらの経費削減を図ることを目指します。タブレット端末とクラウドサービス型の文書共有ソフトウェアを活用し、紙媒体に比べての利便性の低下も最小限に抑えつつ効率的な議会運営を図っていくことを予定しています。

また、タブレット端末を利用することで、各種資料、データへのアクセス性が向上し、議会運営の充実にもつながるほか、市民への説明に用いることができるなど、議会の見える化という副次的効果もあると考えています。

### 議会のインターネット公開

タブレット導入後の次のテーマは、議会のインターネット公開です。

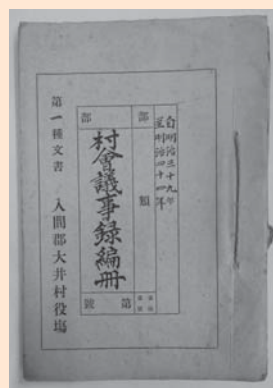
議会には本会議、委員会など様々な会議がありますが、まずは本会議のインターネット公開、具体的には、You Tube を利用した動画配信について検討を進めています。



タブレット端末研修会の様子

**途中がおもしろい！  
舟運と陸路の途中下車推進事業**

今年度、旧大井村役場庁舎が多目的なイベントスペースとして改修され、賑わいの創出と収益を見込む拠点として整備されます。



明治時代の村議会会議録

**旧大井村役場**  
施工…1937（昭和12）年5月  
設計者…北村甲子之助（埼玉県蕨町）  
施工者…三澤良作（大井村）  
鹿戸安太郎（川越市）

川越街道沿いに建てられた木造2階建て庁舎。飾りの少ないシンプルな和洋折衷なつくりと窓が多く明るい雰囲気特徴的な埼玉県内で現存する唯一の木造庁舎です。2002（平成14）年に国の登録有形文化財として登録されました。

### 地域探訪

自転車でも行ける地域の宝  
魅力溢れるモダン建築

編集委員が訪ねました

#### 〔旧大井村役場の歴史〕

- 昭和12年 建物施工
- 昭和47年 新庁舎が亀久保1103番地1に建てられ役場機能に移る
- 昭和48年 東入間警察署として短期間利用
- 昭和49年 大井小学校の特別教室として使用
- 昭和52年 文化財収蔵庫・埋蔵文化財整理室として平成13年まで使用される
- 平成14年 国の登録有形文化財に登録される

出典：旧大井村役場庁舎パンフレット

旧大井村役場外観

